

F M放送遠隔制御監視装置仕様

① 遠隔制御盤

本装置はFM放送送信機を遠隔操作にて運用するもので上段の制御部と下段のI P・音響変換伝送装置で構成されます。

制御部のスイッチ類は照光式押しボタンスイッチで左側より「TX NO. 1」「TX DOWN」「TX NO. 2」となっています。

表示は状態に応じて上段の運用中、下段の停止中ランプが点灯します。

パネル面左上部の表示は左側より「REMOTE」「AC. FAIL」「B・DOWN」となります。

操 作

表示部の「REMOTE」ランプが点灯していれば送信機を遠隔操作出来ます。

「TX NO. 1」の押しボタンを押すと数秒後に表示が「DWN」から「OPE」に変わり送信機が正常に動作している事が確認出来ます。

本装置の「TX NO. 1」「TX NO. 2」押しボタンは同時に動作しません。

運用している送信機を切り換える場合は、「TX DWN」スイッチを押して「OPE」表示が「DWN」表示に変わったのを確認してから切り換えたい側の「TX NO. ※」ボタンを押してください。

装置が切り換わったら「DWN」表示が「OPE」表示に変わります。

運用中の送信機に障害が発生した場合、自動切換制御盤によって休止中の送信機へ自動的に切り換わります。

本装置の表示により送信機が切り換わった事が確認出来ます。

第1送信機・第2送信機ともに障害が発生した場合には、表示部の「B・DOWN」赤ランプが点灯し同時にブザーが鳴動し知らせます。

状態を確認後「TX DOWN」ボタンを押すと「B・DOWN」ランプが消え、ブザーの鳴動が停止します。

送信所が停電の場合は、表示部の「AC. FAIL E」が点灯します。

② 無音検出切換盤

演送所よりの音声・楽曲が切れて無音状態になると、約10秒後に前面パネルのLEDランプが緑色より赤色に切り替わります。

尚約50秒後(無音状態より約1分後)には内部プレーヤーに切り替わり音楽が流れて無音状態を無くします。

又、演送所よりの無音状態の接点を後面パネルの端子に出しております。

演送所よりの入力が回復すれば即刻現状に復旧します。

③ 放送モニタ盤

送信所よりのエアモニターの音声・楽曲出力を受信して放送内容を聞くことができます。ランプ表示、外部出力端子等は同じです。

※ FM放送遠隔制御監視装置を使用する場合、接続しているネットワーク機器を含み無停電電源装置より電源を供給して下さい。

外 観 仕 様

寸 法	H 5 0 0 × W 6 0 0 × D 5 0 0	突起部を除く
重 量	約 4 0 K g	

※ 本装置の仕様は、性能向上等の理由により予告なく変更する事があります。

株式会社 中崎電子工業

〒 8 9 0 - 0 0 4 5 鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 武 3 丁 目 2 0 - 1 8

電 話	0 9 9 - 2 5 5 - 1 6 3 7
F A X	0 9 9 - 2 5 9 - 2 6 2 0
M a i l	info@nakazakidenshi.co.jp